

次期総合計画について





総合計画とは

市民一人ひとりが自分たちが暮らすまちに誇りを持ち、夢や希望を抱いて、いきいきと多様な生活を楽しむことができる「上質な生活都市」を実現するための具体的な取組を計画的に進めていくため、平成28年3月に熊本市第7次総合計画を策定しました（令和元年に中間見直し）。

総合計画の内容

本計画には、基本構想（まちづくりの基本理念やめざすまちの姿等）及び基本計画（都市整備の方針、まちづくりの重点的取組、分野別施策等）、実施計画（具体的な取組等を年度ごとに作成）の3層構造で構成されています。

目標年次

第7次総合計画（8年計画）の目標年次は、令和5年度としているため、本年度中に次期総合計画を策定する必要があります。



次期総合計画

第7次総合計画をベースにしつつ、市長マニフェストや、時代の変化等にも対応した次期総合計画（第8次総合計画）を策定し、今後の本市の進むべき方向性を市民や職員と共有します。

策定スケジュール

スケジュールは、8月に骨子、11月に素案、3月に計画策定を予定としています。

まちづくりの方向性

次期総合計画に盛り込む「南区の現状と課題、まちづくりの方向性（案）」については3ページのとおり。



南区の現状と課題（案）

南区は、宅地開発の進展に伴い、子育て世代の流入による人口増加率が他区と比較して最も高くなっています。一方で、新旧住民との交流が少ないことによる地域コミュニティの希薄化や、自治会役員・農漁業・文化活動・福祉などあらゆる分野の担い手不足が課題となっています。

まちづくりの方向性(案)

1

こどもたちの豊かな
ところを育むまち

近年の核家族化や地域での人のつながりの希薄化等により、子育ての負担感が増している状況にあります。みんなが地域に愛着を持ち、世代を超えた交流を深めながら、地域全体で子育てを支えることが求められています。そこで、区民・地域団体等と行政の協働により、こどもたちの豊かなところを育むまちづくりを推進します。

2

健やかでこころ
穏やかに暮らせるまち

いつまでも健康で元気に暮らすためには、一人ひとりが「自らの健康は自ら守る」という健康意識を高め、その取り組みを継続していく必要があります。そこで、区民・地域団体等と行政の協働により、こどもから大人までが「健やかでこころ穏やかに暮らせるまちづくり」を推進します。

3

人とつながり
こころ躍るまち

住み慣れたまちでいきいきと暮らし続けるには、地域団体や住民が多様性を認め合い、相互につながり助け合い、楽しみや生きがいを持ち、地域愛を深める必要があります。そこで、区民・地域団体等と行政の協働により、自然や歴史などの地域資源を活かし、あらゆる世代が人とつながりこころ躍るまちづくりを推進します。

4

安心して暮らせる
こころ丈夫なまち

安全、安心に暮らすためには、自助・共助・公助の役割を明確にし、いざというときに迅速に対応できるよう、日頃から備えることが重要です。そこで、一人ひとりが防災・防犯意識を高め、区民・地域団体等と行政の協働により、地域ぐるみで支え合いながら安心して暮らせる心丈夫なまちづくりを推進します。